

2年生	国語科	教科書、ノート、ワーク、資料集
(学習の目標)		
1 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんたり理解したりすることができるようとする。		

↑	授業の進め方や授業のポイント	↑
1 様々な素材にふれ、社会生活で活かせる実践的な能力を高める。		1 復習として漢字練習や語句の確認など語彙力を高める活動を繰り返し行う。
2 繰り返し学習の中で語彙力を徹底して高める。		2 新聞や雑誌、インターネットを通して様々な文章に触れ、自分の考えを持つ。
3 書くことや聞くことのトレーニングを積極的に行う。		3 内容理解に向けて練習問題などに積極的に取り組む。
4 討論や文章作成など総合的な国語力を高める素材を工夫する。		4 積極的に読書を行い様々なジャンルの作品に触れる。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト・単元テスト・ワークシートなど
思考・判断・表現	定期テスト・単元テスト・ワークシート・課題作文など
主体的に学習に取り組む態度	ふり返り・ワークシート・パフォーマンス課題など

1年間の授業計画（140時間）

学習の流れ			学習内容
1 学期			<ul style="list-style-type: none"> 社会生活の中から話題を決め、材料を集め整理する。 異なる立場や考え方から自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話す。 資料や機器などを効果的に活用して話す。 自分の考えと比較する。 相手の立場や考え方を尊重し、自分の考えを広げる。
2 学期			<ul style="list-style-type: none"> 社会生活の中から課題を決め、自分の考えをまとめる。 自分の立場を明確にして、文章の構成を工夫する。 事実や事柄、意見や心情が伝わるように工夫して書く。 書いた文章を読み返し、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にする。 書いた文章を互いに読み合い、意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げる。
3 学期			<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な概念や心情を表す語句に注意して読む。 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。 文章の構成や展開、表現の仕方を、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 文章に表れているものの見方や考え方を、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。 選んだ本や文章から情報を得て、自分の考えをまとめること。
4 学期			<p>※伝統的な言語文化に関すること</p> <p>※言葉の特徴やきまりに関するここと（言葉の働きや特徴、言葉遣いに関するここと／語句・語彙に関するここと／単語、文及び文章に関するここと／表現の技法に関するここと）</p> <p>※漢字に関するここと</p> <p>※書写に関するここと</p>
5 学期			
6 学期			
7 学期			
8 学期			

2年生	社会科	教科書、地図帳、資料集、ワーク、ノート
-----	-----	---------------------

学習の目標

社会的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家 及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

① 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようする。

② 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

③ 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自國を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

↑	授業の進め方や授業のポイント	↑	家庭学習の手引き
	<ul style="list-style-type: none"> ① ベル着をする。 ② 学習に必要なものをそろえる。 ③ 授業に集中する。 ④ 話を聞く時と活動（作業や話し合い等）する時のメリハリをつける。 ⑤ 授業内容をワークシートにまとめる。 ⑥ 問いや課題に対して自分の意見を持つ。 ⑦ 提出物は期限を守って提出する。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 宿題や課題があれば、必ずやりきる。 ② 教科書、ノート、資料集を使って、学習内容を復習する。教科書を読み、自分なりに学習内容をまとめるのがベスト。 ③ 教科書の重要語句は覚えるとともに、説明できるようする。 ④ ワークを使って学習内容の定着を図る。 ⑤ できるだけ新聞やニュースを見て、社会に関心を持つ。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト、レポート(課題)の内容、振り返りシート等
思考・判断・表現	定期テスト、レポート(課題)の内容、振り返りシート等
主体的に学習に取り組む態度	レポート(課題)の内容、振り返りシート、授業や学習への取り組み方等

1年間の授業計画 (105時間)

学習の流れ			学習内容	
1学 期	歴史	○近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ヨーロッパとの出会いと全国統一 ○江戸幕府の成立と対外政策 ○産業の発達と幕府政治の動き 	
	地理	○日本のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> ○地域調査の手法 	
2学 期		○日本の地域的特色と地域区分	<ul style="list-style-type: none"> ○地形から見た日本の特色 ○気候から見た日本の特色 ○自然災害と防災・減災への取り組み ○人口から見た日本の特色 ○資源・エネルギーから見た日本の特色 ○産業から見た日本の特色 ○交通・通信から見た日本の特色 ○日本を地域区分しよう 	
		○日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ○九州地方 ○中国・四国地方 ○近畿地方 ○中部地方 ○関東地方 ○東北地方 ○北海道地方 	
3学 期	歴史	○開国と近代日本の歩み	<ul style="list-style-type: none"> ○欧米における近代化の進展 ○欧米の進出と日本の開国 ○明治維新 ○日清・日露戦争と近代産業 	

2年生	数学科	教科書、リピート（問題集）、ファイル
-----	-----	--------------------

(学習の目標)

- ①文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりすることができる。
- ②連立方程式について理解し、それを用いることができる。
- ③具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して1次関数について理解することができるようになるとともに、関数関係を見いだし、表現し、考察することができる。
- ④観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線の性質や三角形の合同条件をもとにして、それらを確かめることができる。
- ⑤平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ、論理的に考察し、表現することができる。
- ⑥不確定な事象についての観察や実験を通して、確率について理解できる。
- ⑦様々な事象についての資料を収集して整理したり、箱ひげ図を用いてその傾向を読み取ったり説明することができる。



授業の進め方や授業のポイント
①音声トレーニングや復習問題に取り組む。
②本時の例題を理解する。
③演習問題を解く。
④本時のまとめテストを解く。
⑤振り返りシートを記入する。
※活動に参加し、人に説明する機会を積極的に活用し、力を付けていきましょう。
※レポート課題を行う場合は、その単元で学んだ内容や技能を用いて身近な問題を解決できるよう考えます。



家庭学習の手引き
①授業ごとの宿題（リピート）に取り組む。
②授業の問題をもう一度解く。
③間違えたりわからなかつたりした問題は、自分で書いた途中式を残したまま、正しい式や考え方を書いてもう一度解き直す。
④教科書の問題をノートに写して解く。
⑤教科書の太字の用語や色枠の部分を覚え、説明できるようにする。

通知表の付け方

知識・技能	定期テスト、小テスト、レポート
思考・判断・表現	定期テスト、小テスト、レポート
主体的に取り組む態度	定期テスト、振り返りシート

1年間の授業計画（105時間）

1 学 期	式 の 計 算	学習の流れ	学習内容
		○式の計算 ○文字式の利用	○単項式、多項式、項の意味を理解する。 ○多項式どうしの加法・減法を計算する。 ○単項式と多項式の積を計算する。 ○文字を用いた式を利用して整数の性質を証明する。

	連立方程式	○連立方程式とその解き方 ○連立方程式の利用	○二元一次方程式の意味を理解する。 ○連立方程式の意味を理解する。 ○連立方程式の解の意味を理解する。 ○加減法で連立方程式を解く。 ○代入法で連立方程式を解く。 ○具体的な問題で連立方程式を用いて解く。
2学 期	一次関数	○1次関数 ○1次関数と方程式	○1次関数の意味を理解する。 ○事象の中から一次関数を見いだし式に表す。 ○1次関数の変化の割合や傾き切片などを理解して求め る。 ○1次関数のグラフを書いたり、グラフから1次関数の式を求めたりする。 ○二元一次方程式と1次関数の関係を理解する。
	平行と合同	○説明のしくみ ○平行線と角 ○合同な図形	○多角形の内角の和を求める。 ○対頂角、同位角、錯角の意味と平行線との関係を理解する。 ○三角形の内角の和が 180° になる証明を理解する。 ○三角形の合同条件を理解し、証明に利用する。
	三角形と四角形	○三角形 ○平行四辺形	○二等辺三角形の定義と性質を理解する。 ○直角三角形の合同条件を理解する。 ○平行四辺形の性質と平行四辺形になるための条件を理解し、証明に利用する。 ○正方形、ひし形の定義と平行四辺形の関係を理解する。
3学 期	確率	○確率	○確率の意味を理解する。 ○場合の数から計算によって確率を求めることが理解する。 ○表を使って確率を求めることが理解する。 ○樹形図を使って確率を求める方法を理解する。
	データの比較	○四分位範囲と箱ひげ図	○箱ひげ図の表し方を理解する。 ○箱ひげ図を利用して、データの傾向を判断する。

2年生	理 科	教科書、ワークシート、ワーク、ファイル
-----	-----	---------------------

(学習の目標)

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

授業の進め方や授業のポイント	家庭学習の手引き
<ul style="list-style-type: none"> ①授業規律を守る。 ②説明をしっかり聞き、自分の考えを持つ。 ③積極的に発表する。 ④仲間の意見に耳を傾ける。 ⑤プリントやワークシートに授業の記録を残す。 ⑥観察・実験は積極的に参加する。 ⑦安全に充分留意し、指示をしっかり守る。 ⑧期限を守って提出物を必ず提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業のあった日はその日に復習する。 ②教科書の記述とワークシートの記述を見比べる。 ③ワークやプリントで基礎の定着を図る。 ④定期テスト対策をしっかりと行う。 ⑤まとめ直しが日常的に行い、テスト前は問題演習を中心に取り組む。 ⑥定期テストが返却されたら、必ずやり直しをする。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト、実験レポート（結果）、観察、実験への取り組み方、単元末テスト
思考・判断・表現	定期テスト、実験レポート（考察）、章末レポート
主体的に学習に取り組む態度	課題に取り組む態度、章末レポート

1年間の授業計画 (140時間)

学習の流れ		学習内容
1 学 期	生物の体のつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の体をつくるもの ○植物の体のつくりとはたらき ○動物の体のつくりとはたらき ○動物の行動のしくみ <ul style="list-style-type: none"> ○生物の体のつくりとはたらきの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴について学習する。 ○植物の体のつくりとはたらきの関係に着目しながら、根、茎、葉のつくりとはたらきについて学習する。 ○動物の体のつくりとはたらきの関係に着目しながら、生命を維持するはたらきについて学習する。 ○動物の体のつくりとはたらきの関係に着目しながら、刺激と反応について学習する。

2 学 期	化学変化と 原子・分子	○物質の成り立ち	○身近な例や実験をもとに、1つの物質が分かれて複数の物質ができる化学変化（分解）について学習する。また、物質は原子や分子からできていることを学習する。
		○物質の表し方	○原子の記号や化学式、化学反応式による物質や化学変化の表し方を学習する。
		○さまざまな化学変化	○身近な例や実験をもとに、物質の結びつきが変わることで起きる化学変化（酸化・還元）について学習し、その際、熱の出入りを伴うことを学びます。
		○化学変化と物質の質量	○質量保存の法則や、化学変化に関する物質どうしの質量変化の規則性について、実験を通して学習する。
3 学 期	電流とその利用	○電流の性質	○回路を流れる電流や各区間に加わる電圧、電流と電圧の関係（オームの法則）、電気抵抗や電気エネルギーについて学習する。
		○電気の正体	○静電気による力やその発生のしくみ、静電気の流れと電流の関係について学習する。そして、電流の正体は、電子の流れであることを学習する。また放射線の性質や利用について学習する。
		○電流と磁界	○電流によって発生する熱や磁界を利用したさまざまな電気器具が使われていること、電磁誘導を利用した発電が行われていること等を学習する。
3 学 期	地球の大気と天気の動き	○地球をとり巻く大気のようす	○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素や気象観測について学習する。
		○大気中の水の変化	○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲のできるしくみを通して、空気中の水蒸気と気温、湿度の関係について学習する。
		○天気の変化と大気の動き	○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、前線の通過と天気の変化について学習する。
		○大気の動きと日本の四季	○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みや気象災害について学習する。

(学習の目標)

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を身に付ける。



授業の進め方や授業のポイント

- ① 授業規律を守り、合唱隊形に並び、姿勢良く立ち、大きな声で、意欲的に歌う。
- ② 説明や指示をしっかりと聞く。
- ③ 仲間の歌や声をしっかり聞く。
- ④ パート練習に集中して取り組む。
- ⑤ 鑑賞教材は鑑賞する観点を意識して静かに聞く。
- ⑥ 感じたこと、思ったことを文章で表現する。
- ⑦ 毎時間の振り返り（振り返りカードの記入）をしっかりと行う。
- ⑧ 忘れ物、授業遅刻をしない。

家庭学習の手引き

- ① 教科書、配布した楽譜、プリントを見直す。
- ② 作詞者、作曲者、調、拍子、速さ、歌詞などを見直し覚える。
- ③ 習った歌が何も見ずに一人で歌える。
- ④ 日常生活の中で、色々な音楽に興味を持ち、親しむ。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト・歌唱テスト（発声・声の響き・音程・姿勢態度）・リコーダーテスト（運指・音色・曲想）
思考・判断・表現	定期テスト・歌唱テスト（曲想）・リコーダーテスト（音色・曲想）・鑑賞テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業中の学習の様子・レポート・振り返り

1年間の授業計画（35時間）

	学習の流れ	学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○アルトリコーダー（ド～ソ・左手） ○「夢の世界を」「翼をください」 ○「夏の思い出」 ○歌唱テスト ○鑑賞「フーガト短調」 ○器楽「聖者の行進」 ○アルトリコーダーテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽の学習に対する目的や約束事、心構え等を理解する。 ○親しみやすい齊唱、2部合唱、3部合唱の曲を歌う。 ○自分のパートの音を確実に取り、ハーモニーを感じ取りながら歌う。 ○歌唱力テストでは、発声法、声の響き、音程、曲想、態度に注意し、精一杯歌う。 ○パイプオルガンの響きに親しむ。 ○パートの役割を感じ取りながら、演奏する。 ○正しい運指で楽譜通りに演奏する。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱の響き 「学級合唱曲」 ○歌唱テスト ○「夏の日の贈り物」 ○「サンタ ルチア」 ○鑑賞曲「交響曲第5番ハ短調」 	<ul style="list-style-type: none"> ○色々な合唱曲に取り組み、豊かな表現力を身につけ、合唱を愛好する気持ちを持つ。 ○曲の持っている良さや特徴を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ○仲間と共に励まし合い、意欲的に取り組み、学級合唱を完成させる。 ○速度や強弱の変化を生かして、多彩な表現を工夫する。 ○イタリア語特有のリズムやアクセントを生かして、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ○オーケストラの響きを味わい、曲の構成、各楽器の特徴を感じ取りながら聴く。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞 オペラ「アイーダ」 ○歌舞伎「勧進帳」 ○卒業式に向けての合唱 ○歌唱テスト ○アルトリコーダー（左手・右手、サミング） 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合芸術であるオペラ（歌劇）を鑑賞し、オーケストラと「声」が生み出す豊かな表現を味わう。 ○日本の伝統音楽に触れ、その良さを学ぶ。 ○卒業式にふさわしい歌い方を工夫し、気持ちを込めて歌う。 ○美しい3部合唱になるようハーモニーを大切に歌う。 ○音楽を感じながら美しい音色で演奏する。

2年生	美術科	いろいろな表現技法・彫刻、立体作品・鑑賞
-----	-----	----------------------

(学習の目標)

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を身に付けるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を高める。

- (1) 美術の活動に積極的に取り組み、心豊かに制作を進めることができる。
- (2) 個性的な観察力や想像力を高め、独創的・総合的な見方や考え方を身に付け、豊かに発想したり構想する能力や表現方法を創意工夫しながら創造的に表現することができる。
- (3) 自然の造形や美術作品、文化遺産などについての見方を深め、心豊かに生きることと美術との関わりに关心を持ち、よさや美しさなどを味わうことができる。

↑ 授業の進め方やポイント	↑ 家庭学習の手引き
<p>①説明などの話をしっかりと聴き、考え、表現する内容を理解する。</p> <p>②「うまく表現できないから練習している」と言う気持ちを大切にすれば、徐々に上達し、さらに楽しめる時間となる。</p> <p>③作品や道具類と準備や片付けの時間を大切にする。</p>	<p>①日頃から画集や作品などに親しみ、好きな作家や作品に興味を持つ。</p> <p>②表現技法の上達は、描具と用紙の使った量に比例すると言われている。身近な風景や人物、器物などを描いて楽しむ時間をつくろう。</p>

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	制作状況、課題作品、作品の進度・計画表 実技テスト等
思考・判断・表現	制作状況、鑑賞・感想文などワークシートの記入内容等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、自己評価カード、制作計画表 単元末のレポート等

年間授業計画（35時間）

学習の流れ			学習内容
1 学 期 デ ザ イ ン や	○自分と向き合うモダン テクニックと自画像		<p>○色彩やモダンテクニックの学習を生かし、分らしい色や形を用いて自画像制作を創造的、計画的に進める。</p> <p>○基礎、基本の技法を基に、創意工夫し作品を制作する。技法を生かして、作品を制作する、見</p>

	工芸 鑑賞	<p>る人の心に響くイメージの世界を表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の作品について発表したり、仲間に言葉で伝え、仲間の作品を鑑賞し、意見交流したりする。
2 学 期	デザインや 工芸 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ○ネームプレート <p>○透視図法やレタリングの学習を生かし、文字やイメージで自分自身を表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをしっかりと伝えることを学ぶ。 ○仲間の考え方、表現方法を受け入れ、認めることを学ぶ。 <p>○自分の作品について発表したり、仲間に言葉で伝え、仲間の作品を鑑賞し、意見交流したりする。</p>
3 学 期	デザインや 工芸 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ○光と明かり ランプシェード <p>○伝えたいことや主張したい内容の表し方を工夫して、効果的に伝えるための材料や、優れた作品に关心を持ち、作品を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本、西洋の作家や作品の鑑賞する。 ○自分の作品について発表したり、仲間に言葉で伝え、仲間の作品を鑑賞し、意見交流したりする。

※ 各学習活動では、適宜、発展課題、鑑賞の活動を実施します。

2年男子	保健体育科	教科書、中学体育実技、学習カード等
------	-------	-------------------

(学習の目標)

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を高める。

[体育分野]

- ①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようになる。
- ②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

[保健分野]

- ①個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

授業の進め方や授業のポイント	家庭学習の手引き
<ul style="list-style-type: none"> ①服装を整え、素早く行動する。 ②準備・片づけ等、積極的に行動する。 ③授業リーダーを中心とした準備運動等を行う。 ④指示を聞き、ルールを守り、安全に留意して活動する。 ⑤互いに協力して、活動する。 ⑥苦手なことにも前向きに取り組む。 ⑦提出物は期限を守り必ず提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日々の体調管理をきちんとすること。 ②授業で学習したことを、復習すること。 ③授業で学習したことを、日常生活の中に生かしていくこと。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	学習カードの内容、学習活動の状況、審判、定期テスト、スキルテストなど
思考力・判断力・表現力	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など
主体的に学習に取り組む態度	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など

1年間の授業計画（105時間）

学習の流れ		学習内容
一学期	体つくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンス ○体ほぐしの運動 ○新体力テスト <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや目的、約束事、心構え等を学習する。 ○さまざまな運動を通して、体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりしながら仲間と豊かに交流する。 ○各種目において力を最大限に發揮し、今の自分の体力を学習する。
	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ○走高跳 ○走幅跳 <ul style="list-style-type: none"> ○助走スピードを生かして素早く踏み切り、より遠くへ跳んだり、競争したりできるようにする。
	球技	<ul style="list-style-type: none"> ○バレーボール <ul style="list-style-type: none"> ○パス、サーブ、スパイクなどの基本的な技能を身に付け、仲間と一緒に協力して練習やゲームを行う。

	健康な生活と病気の予防②	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病の起り方 ○生活習慣病の予防 ○がんの予防 ○喫煙の害と健康 ○飲酒の害と健康 ○薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的な影響 ○喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 	<p>○生活習慣病についての理解を深め、生活習慣を改善することで、多くの病気を予防できることを学習する。</p> <p>○喫煙・飲酒・薬物乱用が心身に及ぼす悪影響について理解するとともに、成長期にある未成年者に与える大きな影響について学習する。</p>
二学期	武道	○柔道	<p>○受け身や基本的な投げ技を習得すると同時に、礼儀作法を身につけ、武道に親しみながら、仲間と協力して練習や試合を行う。</p>
	陸上競技	○長距離走	<p>○走法、ペース配分を考えながら走り、自己記録の向上を目指す。</p>
	器械運動	○跳び箱運動	<p>○補助等仲間と協力しながら基本的な技を練習し、できそうな技に積極的にチャレンジする。</p>
	球技	○ソフトボール	<p>○キャッチボールやバッティングなどの技能とルールを習得し、仲間と協力して練習やゲームを行う。</p>
	傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○自然災害による傷害の防止 ○共に生きる 	<p>○傷害は人的要因・環境要因の相互のかかわりで起こることを知って、その予防を考える。</p> <p>○交通事故は人的要因・車両要因・環境要因のかかわりで起こることや、車両の特性を学習する。</p> <p>○危険を予測する能力を身につける。</p> <p>○日頃からの備えと発生時の安全な行動について学習する。</p>
三学期	球技	○サッカー	<p>○パスやドリブルなどの技能を習得し、ルールを覚えて仲間と協力して練習やゲームを行う。</p>
	ダンス	○現代的なリズムのダンス	<p>○リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを、リズムに乗って全身で表現する。</p>
	体育に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの学び方 ○運動やスポーツの安全な行き方 	<p>○運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果が期待できることを学習する。</p> <p>○運動やスポーツは、自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果やルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを学習する。</p> <p>○運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを学習する。</p>
	傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ○応急手当の意義と心肺蘇生 ○けがの応急手当 	<p>○応急手当の意義を理解し、手順を学習する。</p> <p>○意識の確認、気道確保、人工呼吸の仕方を学習する。</p> <p>○傷の手当、止血法、包帯法、固定法を学習する。</p>

2年女子	保健体育科	教科書、中学体育実技、学習カード等
------	-------	-------------------

(学習の目標)

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を高める。

[体育分野]

- ①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようとする。
- ②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

[保健分野]

- ①個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

授業の進め方や授業のポイント	家庭学習の手引き
<ul style="list-style-type: none"> ①服装を整え、素早く行動する。 ②準備・片づけ等、積極的に行動する。 ③授業リーダーを中心活動を行う。 ④ルールを守り、安全に留意して活動する。 ⑤「あい」のある学習を中心に、グループで協力して活動する。 ⑥苦手なことにも前向きに取り組む。 ⑦提出物は期限を守り必ず提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日々の体調管理をきちんとする。 ②授業で学習したことの振り返をする。 ③授業で学習したことを、日常生活の中に生かしていく。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	学習カードの内容、学習活動の状況、審判、定期テスト、スキルテストなど
思考力・判断力・表現力	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など
主体的に学習に取り組む態度	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など

1年間の授業計画（105時間）

学習の流れ		学習内容
一学期	体つくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンス ○体ほぐしの運動 ○新体力テスト <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや目的、約束事、心構え等を理解する。 ○さまざまな運動を通して、体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりしながら仲間と豊かに交流する。 ○力を最大限に發揮し、今の自分の体力を知る。
	球技	<ul style="list-style-type: none"> ○バレーボール <ul style="list-style-type: none"> ○パス、サーブ、スパイクなどの基本的な技能を身に付け、仲間と協力して練習やゲームを行う。

	陸上競技	○ハーダル走 ○走り幅跳び	○インターバルを一定のリズムで走り、タイムを短縮したり、競走したり、記録の向上を目指す。 ○助走スピードを生かして素早く踏み切り、より遠くへ跳んだり、競争したりできるようにする。
	健康な生活と病気の予防	○生活習慣病の起こり方 ○生活習慣病の予防 ○がんの予防 ○喫煙の害と健康 ○飲酒の害と健康 ○薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的な影響 ○喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処	○生活習慣病についての理解を深め、生活習慣を改善することで、多くの病気を予防できることを学習する。 ○喫煙・飲酒・薬物乱用が心身に及ぼす悪影響について理解するとともに、成長期にある未成年者に与える大きな影響について学習する。
二学期	武道	○柔道	○受け身や基本的な投げ技を習得すると同時に、作法を身につけ、日本古来の武道に親しんだり、試合を楽しんだりする。
	ダンス	○創作ダンス	○与えられた課題やテーマを身体活動を通して表現する。
	陸上競技	○長距離走	○走法、ペース配分を考えながら全力を出して競走したり、記録の向上を目指す。
	傷害の防止	○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○自然災害による傷害の防止 ○共に生きる	○傷害は人的要因・環境要因の相互のかかわりで起こることを知って、その予防を考える。 ○交通事故は人的要因・車両要因・環境要因のかかわりで起こることや、車両の特性を学習する。 ○危険を予測する能力を身につける。 ○日頃からの備えと発生時の安全な行動について学習する。
	球技	○バスケットボール	○個人的な技能を身に付け、攻防のしかたを工夫し、仲間と協力して練習やゲームを行う。
三学期	球技	○卓球	○サービス、レシーブ、スマッシュなど基本的な技能を身につけ、仲間と協力して練習やゲームを行う。
	体育に関する知識	○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの学び方 ○運動やスポーツの安全な行い方	○運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果が期待できることを学習する。 ○運動やスポーツは、自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果やルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを学習する。 ○運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを学習する。
	傷害の防止	○応急手当の意義と心肺蘇生 ○けがの応急手当	○応急手当の意義を理解し、手順を学習する。 ○意識の確認、気道確保、人工呼吸の仕方を学習する。 ○傷の手当、止血法、包帯法、固定法を学習する。

(学習の目標)

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

- ①生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。
- ②目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培ができる。
- ③エネルギーの変換方法や伝達のしくみについて知ることができる。
- ④エネルギー変換を利用した製品を製作し、電気回路の配線・点検ができる。
- ⑤生活や産業の中で情報手段の果たしている役割について考えることができる。
- ⑥コンピュータの基本的な構成と機能が理解できる。

↑
授業の進め方や授業のポイント

- ①授業の内容をよく聞き作業を進める。
- ②授業内容をワークシートにまとめる。
- ③意欲を持って最後までやりきる。
- ④教科書・ファイルを忘れない。
- ⑤作品の作成はていねいに能率よく進める。
- ⑥道具を大切に取り扱い、片付けをしっかりと行う。
- ⑦提出物の提出期限は必ず守る。

↑
家庭学習の手引き

- ①教科書、ワークシートを見直す。
- ②教科書の太文字の単語について、覚える。
- ③授業で習ったことを、家庭生活の中に生かしていく。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト、作品、ワークシート、レポートなど
思考・判断・表現	定期テスト、作品、ワークシート、レポートなど
主体的に学習に取り組む態度	定期テスト、作品、ワークシート、レポートなど

1年間の授業計画(35時間)

学習の流れ		学習内容	評価の観点(B基準)
1 学 期 C エ ネ ル ギ ー の 変 換	○生活とエネルギー ○電気エネルギーの変換と利用	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギーの変換に関心を持ち、その特徴を知る。 ○エネルギーの有効利用について関心を持ち、その方法を知る。 ○電気回路の基本的な仕組みについて理解する。 	<p>【知識・技能】 ○電気回路の基本的な仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 ○エネルギーの有効利用について関心を持ち、その方法を調べようとしている。 ○機器の事故、漏電、感電、過熱及び短絡の防止ができる。 ○電気の安全な使い方ができる。</p> <p>【主体的な態度】 ○熱・光・風などのエネルギーの変換に関心を持ち、その特徴を調べようとしている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○懐中電灯の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ○製作しようとする作品について関心を持ち、その仕組みや働きを考えながら製作する。 ○製作品の作動に異常が生じた際に、製作品を検討し、その原因を追及する。 ○簡単な電気製品の配線や組立をする。 ○製作品の作業手順や組立の方法 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○簡単な電気製品の配線や組立ができる。 ○電子部品のはたらきについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製作品の作動に異常が生じた際に製作品を検討しその原因を追及することができる。 <p>【主体的な態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製作しようとする作品について関心を持ち、製作に取り組もうとしている
2 学期	B 生物育成に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 ○目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生物育成の目的を知る。 ○生物育成は、生物に応じた作業があることを理解する。 ○栽培の基本的な技術について知る。 ○作物の生育と光、温度、土、肥料の関係について理解し、適切が管理ができる。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作物の生育に応じた作業をすることできる。 ○管理作業の目的、方法を具体的にまとめることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作物の健康を保つために、施肥や農薬使用を工夫できる。 <p>【主体的な態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作物の栽培環境について関心を持って調べることができる。
	D コンピュータのしくみと基本操作	<ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータを構成する装置 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータの構成と機能を知る。 ○基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの機能と役割の違いを知る。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの機能と役割の違いについて理解している。 <p>【主体的な態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータの基本的なしくみに興味を持ち、調べようとしている。
3 学期		<ul style="list-style-type: none"> ○情報通信ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ○興味のある高校について、インターネットやパンフレットで情報を収集する。 ○Web ページ閲覧に関する情報モラルを知る。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ブラウザを利用し、自分に必要な情報の取捨選択ができる。 ○情報通信ネットワークの利用に必要なソフトウェアの基本的な操作に関する知識を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○著作権やプライバシーを侵害しないようにしている。 ○相手に情報が正しく伝達及び理解されるよう情報手段の選択を工夫し作品を仕上げることができる。 <p>【主体的な態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットなどをを利用して、情報の収集をしようとしている。

2年生	家庭科	教科書、ワークシート、映像資料など
-----	-----	-------------------

(学習の目標)

生活に必要な基礎的な知識と技能の習得を通して、自分の成長を自覚し家庭生活を大切にする心情を身に付け、進んで家庭の一員としての工夫創造する能力や実践的な態度を高める。

- ①衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす工夫ができる。
- ②衣服の計画的な活用の必要性を理解し、衣服表示を見て適切な選択ができる。
- ③衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。
- ④製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。
- ⑤家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。
- ⑥家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。
- ⑦衣服や住まいに関心を持ち、課題をもって生活を工夫し、計画をたてて実践できる。



授業の進め方や授業のポイント

- ① 授業の内容をよく聞き作業を進める。
- ② 授業内容をワークシートに丁寧にまとめ る。メモをとる。
- ③ 意欲を持って最後までやりきる。
- ④ 必要な持ち物を忘れない。
- ⑤ 作品の製作はていねいに能率よく進める。
- ⑥ 道具を大切に取り扱い、片付けをしっかりと行う。
- ⑦ 提出物の提出期限は必ず守る。

家庭学習の手引き

- ① 教科書、ワークシートを見直す。
- ② 教科書の太文字の単語について、覚える。
- ③ 授業で習ったことを、家庭生活の中に生かしていく。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・理解	定期テスト、ワークシート、レポート、作品など
思考・判断・表現	定期テスト、作品、ワークシート、レポートなど
主体的に学習に取り組む態度	作品、ワークシート、レポートなど

1年間の授業計画（35時間）

学習の流れ		学習内容
1 学 期	私 た ち の 衣 生 活	○衣服の働きを考えよう
		○T.P.Oを踏まえた自分らしい着方を工夫しよう
		○必要な衣服を選択しよう
		○衣服手入れをしよう
		○よりよい衣生活を目指して
2 学 期	私 た ち の 作 品 製 作	○手縫いの基礎を練習しよう。
		○布を使って作品をつくってみよう。
3 学 期	私 た ち の 生 活 と 住 まい	○住まい役割と住まい方を考えよう
		○住まいの安全について考えよう
		○災害に備えた住まい方について考えよう
		○健康で快適な室内環境を工夫しよう
		○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を活かす着用について考える。 ○T.P.Oを踏まえながら、個性を活かした服装や着方を考える。 ○和服や洋服の特徴や違いについてまとめる。 ○既製服の表示の読み取り方を知り、適切に衣服を選択出来る力をつける。 ○衣服の手入れや補修の必要性を理解し、衣服材料に応じた手入れの方法を知り実践につなげる。 ○衣服計画を立て、衣生活の面から資源や環境を保護するための再利用方法を工夫する。
		○衣服の構成や作業工程にいる用具を覚える。
		○手縫いに必要な材料や用具を準備し、基礎縫いを練習する。 ○必要な用具を用いて作品を製作する。
		○住まいの役割と家族の関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができるや基本的な機能について考える。 ○各地の住まいとその特徴を考えることができる。 ○住まいの中の危険な場所を見つけ、家庭内事故の防止対策を考える。 ○災害時に危険な場所を見つけ、災害に備えた安全な住まい方を工夫する。 ○健康で心地よく住むための室内環境の条件を知り、改善の方法を考える。 ○自分や家族にとって心地よい住まい方の工夫を考える。

2年生	英語科	① 教科書②ファイル③ワーク④ノート2冊（表現ノートとcan'tをcanにするノート）
-----	-----	---

(学習の目標)

自信をもって、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる力を付ける。

そのために、日々の言語活動（チャットやライティングなど）に主体的（ゴールをもって）に取り組む。学期に1, 2回行うパフォーマンス課題で力が発揮できるように日々の授業の活動を丁寧に取り組む。「できるようになったこと」を増やすために主体的に学習する。



授業の進め方や授業のポイント

- ・学習の目標（CAN-DOリスト）を常に確認し、目的意識を持って授業に参加し、「できるようになったこと」を増やそう。
- ・自分の考え方や気持ちを積極的に話したり書いたりして伝えよう。
- ・授業の3つのルールを大切にしよう。
 - ①Love your friends.
 - ②Love your mistakes.
 - ③Love your challenges.
- ・音読はすべての力を伸ばします。教科書本文の表現を自分の言葉として使えるようになるまで読み込もう。（各ページ30回目標）
- ・ALTの先生と英語でコミュニケーションを取れるチャンスを最大限に活用しよう。授業以外でも積極的に話しかけよう。
- ・学習したことや理解したことを確実に身に付けられるように、毎日家庭学習に取り組もう。自主勉強ノートを使って、「できるようになったこと」を決めて目標にして行動に移そう。
- ・提出物などの課題は必ずやり遂げ、期日を守って提出しよう。
- ・忘れ物はしないようにしよう。

家庭学習の手引き

- ・学校で学習した内容をその日のうちに復習しよう。
→毎時間のワークシートや宿題は必ずやり遂げ、自主勉強も積極的に行おう。
- 授業で習ったことが確実に身に付くよう、学習したことを振り返って、自分の力でやり切れるか確かめながら学習を進めよう。
- 教科書の本文の内容を理解した上で、繰り返し読んだり書いたりしよう。発音が分からぬときはQRコードを活用しよう。
- 学習した語句や基本文、教科書の本文などの内容を自己表現につなげられるかどうか、自分で意見や考えを書くなど、習った表現を使ってみよう。自主勉強については自分でコースを選んで、成長を感じられる内容になるよう工夫しよう。
- ・テストや課題などには目標を持って取り組み、できるようになったことを増やし、自信を付けることができる努力をしよう。

評価について

評価の観点	評価材料
知識・技能	<p>【聞くこと、読むこと】（理解の領域） (リスニング、長文、語句の使い方等の問題において、英語表現そのもの、または使い方を理解しているか、身に付けているかどうかを見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト等のペーパーテスト <p>【話すこと（やり取り・発表）、書くこと】（表現の領域） (話す活動、書く活動の英語表現の<u>正確さ</u>を見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> リテリング（教科書の内容をイラストや写真を見て英語で説明する） パフォーマンステスト等のアウトプットの活動 音読（発音やイントネーション、リズムの正確さ） 表現ノートの英文の正確さ
思考・判断・表現	<p>【聞くこと、読むこと】（理解の領域） (リスニング、長文を目的・場面・状況に応じて内容を理解しているかどうかを見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト等のペーパーテスト <p>【話すこと（やり取り・発表）、書くこと】（表現の領域） (話す活動、書く活動の内容が目的・場面・状況に応じて<u>適切</u>かどうかを見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト等のアウトプットの活動 スキット作成・発表等の言語活動（場面に応じたセリフを考え、演じる等） 表現ノートの英文の<u>適切さ</u>
主体的に学習に取り組む態度	* 基本的には【思考・判断・表現】と評価は連動しており、習ったことを活用して目的・場面・状況に応じて、また相手意識をもって伝え合おうとしている態度、目標に向かって努力をしている具体的な行動を評価に入れます。

1年間の授業計画(140時間)

学期	単元	聞くこと(Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking)		書くこと(Writing)
				やり取り	発表	
1 学期	PRPGRAM 1 Start of a New School Year		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。			自分の町に観光でやってくる外国人に、町の魅力が伝わるように紹介文を書くことができる。
	Steps 1 情報をつなげ、メモをとろう	インタビューを聞いて、概要をつかむことができる。		得た情報を元にさらにインタビューを繰り返し、たくさんの情報を集めることができる。		ライティングについて ①意見ノート ②定期テストのライティング問題を中心に評価します。
	PRPGRAM 2 Leave Only Footprints		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	ペットにしたい動物について、その理由も含めて意欲的にやり取りすることができる。		
	Power-Up 1 Listening 天気予報を聞こう	天気予報を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。				
	Power-Up 2 Listening & Speaking 電話をかけよう	電話の会話を聞いて、要点を聞き取ることができる。		例を参考に、状況を踏まえて電話で会話することができる。		
	Word Web 1 スープの材料			必要な材料を写真から選び、それらについて意欲的にやり取りできる。		
	PRPGRAM 3 Taste of Culture		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。		将来なりたい職業やその理由について、自分の思いや考えを含めて話すことができる。	
	Steps 2 文章の構成を考えよう					文章の構成を意識して、自分が行ったい場所をわかりやすく伝えることができる。
	Our Project 4 「夢の旅行」を企画しよう				「夢の旅行」を企画し、聞き手にわかりやすい魅力的なプレゼンテーションができる。(1学期パフォーマンス課題) ①企画書(プレゼン資料)を書く ②旅行プランを発表する	
	Reading 1 Gon, the Little Fox		Q&Aに取り組みながら、物語の概要を捉えることができる。			
2 学期	Word Web 2 いろいろな形容詞			身の回りのものについて伝え合うことができる。		
	PRPGRAM 4 High-Tech Nature		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	自分の一番大切なものについて、理由や思いを交えて、友だちとやり取りすることができる。		
	Word Web 3 楽器の名前			自分が演奏したい楽器について、その理由や疑問等を伝え合うことができる。		
	PRPGRAM 5 Work Experience		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	場面を想定したスケット活動にて工夫をして取り組むことができる。		
	Power-Up 3 Speaking レストランで食事をしよう	レストランでの対話を聞いて、概要が理解できる。		レストランの店員や客になつたつもりで、状況に合わせたやり取りができる。		
	PRPGRAM 6 Live Life in True Harmony		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。		自分が好きなものについて、わかりやすく紹介できる。	
	Steps 3 会話をつなげ、深めよう			あいづちや疑問詞を上手く使って、会話を広げたり深めたりできる。		
	Our Project 5 こんな人になりたい			「この人はすごい」と思う人物のポスターを、友だちと協力して作成できる。(2学期パフォーマンス課題) ①ポスターを作成する ②人物について説明する(発表) ③その人物についてわからないこと、知りたいことを質問する(やり取り)		

	Reading 2 Friendship beyond Time and Borders		Q&A に取り組みながら、物語の概要を捉えることができる。		
	Word Web 4 いろいろな前置詞			様々な状況について友だちとやり取りできる。	
3 学 期	PRPGGRAM 7 A Gateway to Japan		本文を読み、Q&A に取り組みながら、概要を捉えることができる。	自分が経験した特別な体験について、友だちとやり取りできる。	
	Steps 4 相手にわかりやすい説明をしよう			相手にわかりやすい説明になるように、説明の順序を工夫できる。	
	Power-Up 4 Listening & Speaking 空港アナウンスを聞こう	空港のアナウンスを聞いて、要点をつかむことができる。			
	PRPGRAM 8 A Hope for Lasting Peace		本文を読み、Q&A に取り組みながら、概要を捉えることができる。	友だちが誰になりきっているのか、インタビューを通して見つけ出すことができる。	
	Steps 5 説得力のある主張をしよう			テーマについて、互いの主張を伝え合うとともに、互いの主張を尊重しつつ、議論を深めることができる。	テーマに沿って説得力のある主張ができる。
	Power-Up 5 Writing メールで近況報告をしよう		メール文を読み、要点をつかむことができる。		友だちに自分の近況を報告するメール文を書くことができる。
	Our Project 6 この1年で得た「宝もの」			1年間の自分の思いが、聞き手に伝わるようスピーチすることができる。 (3学期パフォーマンス課題) ① 自分の思い出アルバムを作成する。(それぞれの場面に思い出メッセージを添える) ② クラスマイトに思い出を語る(発表) ③ 互いの思い出に感想文を書く	
	Word Web 5 町の風景			地図を見ながら友だちと道案内のやり取りができる。	
	Reading 3 Visas of Hope		Q&A に取り組みながら、物語の概要を捉えることができる。		

※3年間の目標については「京都府版小中高連携CAN-DOリスト」を参照。

